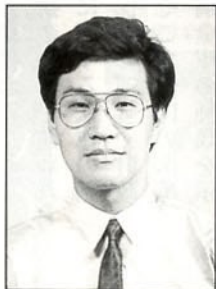


# コレステロールが高いと 言われた時に 受ける検査

—高脂血症—



日本臨床検査医会

三井田 孝氏



あなたはコレステロールが高い（高コレステロール血症）といわれたことがありますか？ 高コレステロール血症は、これまで日本人に少ないとされてきました。ところが日本人の食事が欧米化したため、日本でも高コレステロール血症の患者さんが増えています。コレステロールは細胞膜、ステロイドホルモン、胆汁酸の原料で、人間にとって本来なくてはならない物質です。しかし過剰のコレステロールは血管に沈着し、ついに血管を詰まらせて動脈硬化を引き起こします。

コレステロールは、悪玉コレステロールと善玉コレステ

ロールの大きく二つに分けられます。悪玉コレステロールはLDLコレステロールと呼ばれ、一二〇mg/dl未満は正常、一二〇〜一三九mg/dlは境界域、一四〇mg/dl以上は高コレステロール血症と判定されます。LDLコレステロールが高い人では血管壁にLDLが沈着しやすく、動脈硬化（特に狭心症や心筋梗塞）を高頻度に合併します。一方善玉コレステロールはHDLコレステロールと呼ばれ、四〇mg/dl以上は正常、四〇mg/dl未満は低HDL血症と判定されます。HDLは血管壁に沈着したコレステロールを引き抜き肝臓

まで運びます。HDLコレステロールが低い人では、LDLが高い場合と同様に動脈硬化が進行します。ところでHDLコレステロールが一〇〇mg/dlを越える高HDL血症は、以前は長寿症候群と呼ばれていました。しかし高HDL血症の中にはコレステロール引き抜き能力が低い人もおり、HDLが高すぎる場合は安心できません。

高コレステロール血症といわれたら、増加しているのが悪玉コレステロールなのか善玉コレステロールなのか検査しましょう。朝食を食べずに来院し空腹時に採血すれば、LDLコレステロールを計算で求めることができます。最近ではLDLコレステロールを直接測定する方法も実用化されています。遺伝性の高コレステロール血症が疑われる場合は、アキレス腱にコレステロールが沈着して肥厚していないか、レントゲン写真を撮ります。また甲状腺、肝臓、腎臓、副腎等の病気で高コレステロール血症となる場合もあるため、追加検査が必要なものもあります。動脈硬化が合併していないか調べるためには、運動負荷心電図、ホルター心電図（一日の心電図を記録）、心エコー（心臓の動きを見る）、頸動脈エコーを行います。動脈硬化はゆっくりですが着実に進行します。自覚症状が無いからといって放置せず、早めに診察を受けましょう。